

東住吉中学校 校長室だより

令和3年度 No.2

# ひまわり



令和3年4月12日(月)

## 努力は必ず報われる



競泳の池江璃花子選手は、3歳で水泳を始め、数々の競技成績を残してきました。小学校6年生の時には、50m自由形で全国優勝を果たしました。中学校進学後も多くの大会で優秀な成績を収め、3種目の日本記録保持者となっています。高等学校に入学してもその勢いは止まらず、高校1年生

でリオデジャネイロオリンピック（ブラジル）に出場しました。また、3年生までに9種目の日本記録保持者となりました。

しかし、2019年2月（高校3年生）、突然の病が彼女を襲います。病名は血液のガンである急性リンパ性白血病。すぐに入院し、闘病生活が始まりました。テレビ報道などでも取り上げられていましたが、その治療は大変つらいものでした。そのような中でも、彼女は復活への希望を捨てませんでした。そして、2019年12月、治療の甲斐あって退院することができました。

この病気の治療法は、昔と比べとても進歩しているようです。しかし、一度この病気にかかった人が、日常生活を取り戻すまでには、長い年月がかかります。ましてや、トップアスリートに戻るとなれば、相当の困難が予想されました。

退院から1年余り経った今年2月、競泳ジャパン・オープンの50m自由形で2位となり、復帰後4戦目で初めて表彰台に上りました。その順調な回復ぶりは周囲を驚かせました。さらに、先日行われた、東京五輪の代表選考を兼ねた日本選手権の100mバタフライで優勝。400mメドレーリレーの派遣標準記録（57秒92）も突破し、リレーメンバーとしての東京五輪出場が決りました。

この復活劇の裏には、多くの人のサポートがあったことでしょう。しかし、それにも増して、彼女自身が不屈の精神力で努力し続けたことが想像できます。このことは、試合後のインタビューで、彼女が語った「つらくて、しんどくても、努力は必ず報われる」という言葉に集約されています。とても元気をもらえる言葉だと感じました。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

